



●農園のハウス

【広島】2021年4月に府中市上下町で就農した林新二さん(34)は、農園名を「上下七色農園」と名付け、アスパラガスを中心にオリジナルブランドで認知される野菜づくりをめざしている。



林さんは、JA全農ひろしまがアスパラガス栽培の実践研修を行う「チャレンジファーム広島・上下農場」の第1期生として、技術などを学んでいる。

高品質なブランドをめざす 広島・府中市 林新二さん G7サミットで認められたアスパラ生産

知る! 食べる! 畑d 大地で育まれ

【愛知】都市と農業が共生するまちづくりをめざす「NPO法人かきつ畑」は、知立市の知立文化広場で7月7日、「畑deマルシェ」を開催。「顔の見えるつながりをめざして、地球環境に配慮した生産活動を紹介します」をテーマに、地元産野菜の販売やクイズラリー、四つ葉の



愛知・知立市 NPO法人かきつ畑

多くの子ども連れが来場した。当日は、七夕のため短冊に願いごとを書いたり、体験コーナーでは米の消費を促すための子ども向けおにぎり作りや、野菜の花や葉の押し花を使ったしおり作りが行われた。また、同法人が主催する「畑de学校」の子どもたちが遊休農地を活用して育てたハーブの一種のローゼルを加工した「ローゼルアイスクリム」も販売した。同法人では、都市と農村の共生に向けたイベントを今後も予定しており、子どもたちに農に関わるきっかけ作りをしていきたいとしている。

規格外品をエダマメパウダーに 大阪府立環境農林水産総合研究所



試験販売を始めるエダマメ風味せんべい

【大阪】(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所は、府内の民間企業と連携して、八尾市特産の「八尾えだまめ」を粉末加工したエダマメパウダーを開発した。

同研究所が毎年1回募集しているテーマ設定型共同研究で、昨年度は規格外品の加工をテーマに募集したところ、事業者が

ら提出されたエダマメパウダーのアイデアが採択された。原料に用いるのは一粒莢などの規格外品。ゆでて豆を莢から取り出し、乾燥させて粉末加工を行い完成する。せんべいの味付けに使用するシーズニング(乾燥調味料)などで活用される。豊富なアミノ酸と大豆由来の成分が含まれるエダマメパウダーは、エダマメの風味とうまみが楽しめる。エダマメパウダーで味付けされたせんべいは7月中旬下旬に、八尾市の老舗(米菓)で試験販売を開始する。エダマメパウダーの開発に携わった高井雄一郎主幹研究員は「粉末として幅広く使える商品が完成した。せんべい以外にも総菜やお菓子などにも使用されるようになってほしい」と話す。



多くの参加者でにぎわった相談会

竹利用の笹飼肥料増

宮崎 大和フロンティア 新富町

【宮崎】竹を材料とした飼肥料の「笹サイレージ」を製造・販売する大和フロンティア(株)(都城)は昨年、新富町に製造工場を建設した。工場では、放置竹林で伐採し

た竹を集材、笹サイレージを製造する畜産の飼肥料加や肉質の向上がさまざまな効果がある。同町の

大区画化と収益性向上に挑戦

福岡 三水



【福岡】筑三水うまいち表、70)は、8月に設立。常時雇用2人っているII写生産性向上減をめざし、